

## 7月の水害から半年

# 今もつながりつづけています

### 災害ボランティア

市社会福祉協議会が市と

の協定に基づき、昨年7月11日に開設した災害ボランティアセンターは、被災者からの依頼が収束し、ニーズへの対応完了の目途が



土砂出しの様子

立ったことから10月31日をもって閉所しました。これまでご協力をいただいたすべての関係者の皆さまに心よりお礼申し上げます。

### 継続的な関わり

生活環境の回復に向けた活動が終了した後も困りごとに対して継続した支援活動を行なっています。被災者に限らず「今後の生活が不安」「どこに相談していいのかわからない」などの困りごとや地域福祉活動に関することなど、皆さまからのご相談も受け付けています。

相談の内容に応じて、市

役所や生活自立支援センター、障害者雇員相談支援センター、地域包括支援センター、市民活動団体、民生委員などとも連携し、心配ごとの解決に向けて支援を行なっています。

また、被災地域への訪問やボランティアさんとの会話をきっかけに困りごとや心配ごとがないかを伺い、市役所の窓口への同行支援や福祉サービスの利用の働きかけなど伴走的な支援を行なっています。

地域とのつながりをつくるために地域住民にも働きかけ、被災者が転居後も安心して暮らすことができるような地域づくりを支援していきます。

## どのような支援をしているの？

### 事例1

ボランティアさんから、「依頼者が足腰を痛めていて心配」と相談を受けました。訪問すると、立ち上がりにも苦労されていました。後日、地域包括支援センターの職員と訪問し、介護保険サービスの申請につなげました。



支援の方法について関係機関とも協議します

### 事例2

被災し、別の校区に転居され、新しい環境で戸惑っていた人を、市社協が地域住民とつなぎました。本人はわからないことを教えてもらいながら、少しずつ地域との関係性をつくっていかれています。

